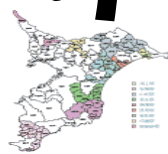


# 隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局  
事務所開所時間  
月・水・金  
10:00~15:00



## 千葉県隊友会長 ご挨拶

千葉県隊友会会員及びご家族の皆様、穏やかに新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

ポストコロナといわれ形を変えながら様々な行事等が始まっています。中には再開の是非の検討過程において再開を断念されたものも数多くあるでしょう。

そのような中においても「我が国の平和と独立を守る」という防衛省・自衛隊の活動はぶれることなく淡々と進められています。安全保障環境は更に厳しさを増し、加えて新入隊員募集環境の悪化が急速に進んでいます。今こそ、「国民と自衛隊のかけ橋」として隊友会の真価を発揮すべき年であると思えます。国民に「自衛隊員という仕事のすばらしさ」を知ってもらい人的基盤の強化に貢献する地道な活動を進めてまいります。

また、千葉県隊友会の基盤を強固なものとするために引き続き、新入会員獲得と引越見積サービスなどの公益事業の推進にご協力をお願いいたします。

会員の活動する姿を見てもらうことによつて現役に隊友会の存在意義を認識してもらい、隊員家族支援などの重要性について理解を深めてもらうことができます。

千葉県隊友会としても今年は隊員家族支援の実効性確保についてチャレンジしていきますのでよろしく願います。

結びに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## 謹賀新年



千葉県隊友会  
会長 菊地 聡

## 在葉部隊指揮官 ご挨拶

新年、明けましておめでとございます。

また、千葉県隊友会の皆様には、平素より自衛隊の活動に対する格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、ロシアによるウクライナに対する軍事侵略の継続に加え、新年早々の1月1日から尖閣諸島周辺の接続水域における中国海警局船舶の航行が確認されるとともに、



陸上自衛隊高射学校長  
兼ねて下志津駐屯地司令  
陸将補 小山直伸

同日北朝鮮によるミサイル発射が行われ、また10月にはイスラエルとイスラム組織ハマスとの間で大規模な戦闘が生起するなど、まさに戦後最も厳しくかつ複雑な安全保障環境を象徴するような1年でした。

このような情勢下、陸上自衛隊高射学校は、航空自衛隊、米陸軍防空砲兵等と緊密に連携しつつ、統合防空ミサイル防衛の一翼を担う高射特科隊員の育成に努めて参りました。

ウクライナ侵略に見られるように、経空脅威は、ミサイルやUAVなど、多様化・複雑化しており、こうした脅威に有効に対処するため、陸自高射特科においても弾道ミサイルや極超音速兵器に対する迎撃能力の強化、レーザー等の指向性エネルギー装備の早期装備化等が計画されています。

現在ではもちろん、将来を見据えつつ、引き続き予期される事態を念頭に部隊運用要領を研究・具体化するとともに、我が国防衛を全うし得る人材の育成に努力する所存です。

結びに、本年が皆様にとつて素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、高射学校に対し今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

# 令和五年秋の叙勲受章者

叙勲授章誠におめでとうございます。  
長年に亙る多大なご功績に敬意を表します。

## 【瑞宝中授章】

茂原支部 千葉 徳次郎 (陸)北部方面総監

## 【瑞宝小授章】

市川支部 天草 洋 (陸)札幌駐屯地業務隊長  
 館山支部 榎本 祐三 (海)第121航空隊司令  
 松戸支部 千原 和人 (陸)東部方面後方支援隊副隊長  
 柏支部 戸田 眞一郎 (航)第83航空隊副司令  
 松戸支部 永戸 正文 (陸)武器学校教育部長  
 柏支部 諸橋 茂 (陸)研究本部幹事

(令和五年十一月三日)

## 危険業務従事者叙勲受賞者

## 【瑞宝双光章】

館山支部 新井 務 (海)館山航空基地隊(館山)  
 船橋支部 樺 政児 (陸)第1空挺団(習志野)  
 船橋支部 川端 康之 (陸)第2高射特科群  
 柏支部 逆井 和浩 (陸)化学学校(大宮)  
 木更津支部 坂間 浩之 (陸)第1輸送ヘリコプター群(木更津)  
 四街道支部 白木 正一 (陸)高射学校(下志津)  
 松戸支部 中島 均 (海)下総航空基地隊(下総)

## 【瑞宝单光章】

松戸支部 石渡 英男 (陸)第2高射特科群(下志津)  
 四街道支部 田淵 達哉 (陸)高射学校(下志津)

(令和五年十一月三日)

## ◆事務局からお知らせ◆

謹賀新年

千葉県隊友会の皆様、平素から千葉県隊友会事務局にご支援ご協力を賜わり深く感謝申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の早期終結の願いも虚しく、今も継続し、その終わりが見えません。そして、十月にはハマスのテロ活動で始まったイスラエル・ガザ戦争は、ハマスの殲滅を企図するイスラエルの目的が達成されるまで続くことも予測されますが、悲惨な現状に心を痛めるとともに、日本にも深刻な影響を及ぼす中東地域にその余波が拡大しないことを願うばかりです。また、日本国内の物価高経済の継続に加え、政治混乱もあり、決して安泰な年ではなかったと思います。

その中であって各支部におかれてはコロナ禍で中止、規模縮小していた事業を再開し、隊友会の目的達成に向かって鋭意活動されたことに感謝申し上げます。

また、奇数月第二土曜日に事務局で実施している新聞郵送作業のご支援を頂いている近隣支部会員に感謝申し上げます。紙面をお借りし御礼申し上げます。

令和六年においても、支部活動が主体となって千葉県隊友会の活動が更に活発になるよう事務局として、支部長をはじめ支部会員および県本部理事役等と緊密に連携し事務局業務を進めて参りますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

◆令和六年の主要行事のお知らせ

①臨時理事役会

三月六日(水)十三時半〜十六時

千葉県隊友会事務局

②理事役会及び後期支部長会議

三月十六日(土) 九時〜十二時

千葉市民会館三階会議室

※後段・隊友政治連盟総会

③令和六年度通常総会

四月十七日(水)十二時半〜十九時

三井ガーデンホテル千葉

※総会に併せて、表彰式・防衛講話・懇親会を予定。

◆年会費納入および終身会員の協力金(寄付)のお願い

一月の隊友新聞に振込用紙を同封しておりますので、ご協力をお願いいたします。

年の初めにあたり、会員各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

事務局一同

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042

千葉市中央区椿森1丁目26-9

コンラッドビル4階

電話:043-306-2095

FAX :043-306-2096

Eメール

[chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp](mailto:chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp)

ホームページ

<http://www.chibataiyuu.com/>

勤務日:月・水・金曜日

## ◆北海道の有害鳥獣駆除の一端◆

私は平成二十七年三月、陸自高射学校で定年退職したのち北海道新冠町に単身移住、現職時代の上司相樂氏(三三陸)が起業した「北海道食美樂」というエゾ鹿解体加工会社に身を投じ五年間エゾ鹿事業に携わってきました。その会社は新冠町や近隣の町から有害駆除処理施設として指定を受け、地元ハンター(居住する地域の猟友会に所属し、市町村から有害鳥獣駆除の委嘱を受け公に駆除を行うハンター)が捕獲して搬入したエゾ鹿などを解体、食肉やペットフードなどに加工しています。

北海道では近年エゾ鹿が大繁殖し(令和四年推定七十二万頭)、農林業被害を及ぼす有害鳥獣として駆除の対象となっています。

趣味で狩猟を行う一般ハンターの猟期は地域により差はあるもの、おおむね九、十月から二、三月までの冬季限定であるのに対し、有害鳥獣駆除員はそれ以外の通年で駆除を行っています。

また、一般ハンターは狩猟税を課せられるのに対し、駆除員はその課税を免除または減額されるほか駆除に対し自治体から奨励金が支払われます。新冠町ではヒグマ一頭一百万円、エゾ鹿九千円、アライグマ・キツネ四千円が支払われます。

駆除員の捕獲数はスキルや出猟日数の多少によりまちまちですが、なかには月間四十〜五十頭を捕獲する腕利きハンターも存在します。ちなみに食美樂の男性社員は、私を含め皆有害鳥獣駆除員として仕事の傍ら有害駆除にあたり、私も平均して月五〜十頭ほどのエゾ鹿駆除を行っていました。

駆除に使っていた銃は銃の所持後十年以内の者が所持できる「ハープライフル」(法律上は散弾銃の扱い)でした。銃口内の半分だけ腔線が切つてある銃で、クレー射撃や鴨撃ちでつかうバク弾が散らばる一般的な散弾銃とは異なり大型獣専用の銃で、一発のスラッグ弾を発射する物です。(写真参考)ちなみに射程の長いライフルは散弾銃を十年間所持した後でなければ所持することができません。

さて、駆除員は駆除すれば奨励金をもらえると先述しましたが、いいことばかりではありません。狩猟免許取得や銃の所持許可のハードルが高い上、道具を揃えるにも大金が必要です。米国製などのハープライフルは価格が二十万円以上、スコープはピンキリですが十数万円とすれば合計三十万円を超え、銃ロッカーなどを含めると四、五十万円をゆうに超える高い買い物となります。さらに弾薬も高価で、銅製の弾は一発八百〜千円(北海道では鉛被害防止のため安価な鉛弾は使用が禁止されているため高価な銅弾しか使えない)。猟に使う車も捕獲した鹿を積載できるような改造が必要になりますし、鹿を求めて一日中車を走らせると燃料代もばかになりません。

一日出猟して運よく一頭駆除してもトントンで、獲れなければ全くの赤字です。

このようなことから新たなハンターの成り手は少なく、現在いるハンターの高齢化による廃業と相まって有害駆除にあたる猟友会員は減少の一途をたどっています。

終わりに噂の域を出ませんが、銃の取り扱いに慣れ、銃口管理が徹底されている自衛官や元自衛官を対象に特例処置で銃の保有条件を緩和する検討がなされているとか、ぜひ実現してもらいたいと心から願っています。

理事役 藤田正之



時にはこんな獲物も受け入れます



筆者固有番号56と当該月2頭目のマーキング



米国製サベージ220F  
(脚スコープ付き)

## ◆ 鎌ヶ谷支部 ◆

鎌ヶ谷支部の現況と活動状況について紹介します。

一 鎌ヶ谷支部の現況(会員数と構成)  
 隊友会鎌ヶ谷支部員は81名(令和5年11月31日現在)です。その構成は、陸33名、海35名、空10名。事務官等3名です。陸、海が主要メンバーとなっているのは、近傍に松戸駐屯地、下総基地があるからでしょう。年齢構成は、50歳以下が3%、51歳から60歳が5%、61歳から70歳が15%、71歳から80歳が31%、81歳以上が30%です。(80歳以上のメンバーで6割超え)

### 二 会員数の変遷(減少)

私が支部長に着任したのは、8年前です。当時の会員数は108名でした。現在の人員数は、当時と比べると75%と見えていくと、陸、海が減少の主要因であり、空・事務官等は殆ど変化ありません。減少の主要理由は、逝去、転出です。

### 三 鎌ヶ谷支部の主要な活動内容

○年度総会  
 鎌ヶ谷支部は、3月又は4月に年度総会という懇親会を実施しております。ただ、その参加者は8年前が18名であったのに対し昨年は6名と激減しています。

### ○忠霊塔参拝

平成29年から鎌ヶ谷市内にある忠霊塔への参拝事業を実施しています。こちらは、ありがたいことに毎年5から8名の参加を得ています。



令和4年 忠霊塔参拝

坂本祥貞

なお、本年度は、関東補給処松戸支処長、需品学校総務部長が参加予定でした。(悪天候で中止)  
 ○隊友紙配布57名分が手配りです。支部内を7個の地域に分けて担当者に配つてもらっています。しかし、本年度から1個地区の担当者が転出したにも拘わらず代替者がおらず私が配っている現状から手配りの継続も厳しい状況です。  
 ○災害等対応(災害情報・家族支援)  
 5名から10名で災害情報協力、家族支援業務に対応しています。  
 四 支部運営の明るい兆し  
 各種活動に際して対応人員の固定化が問題ではありませんが、家族支援において趣旨・協力依頼を手紙で出した際、これまで各種活動に全く参加したことが無い方から協力の返事を頂戴することが多々ありました。何かあったら協力してくれる潜在的な隊友会員がいることを再認識しました

## ◆ 香取支部 ◆

香取支部の現況と活動状況について紹介します。

香取支部は、千葉県北部地域(北総地域)の佐原市と香取郡(多古、栗源、神崎、小見川、山田、東庄の各町)を活動拠点とし、会員は現在23名です。会員構成は、60代が10名で、70歳以上が13名(最高齢94歳)です。

地域内に自衛隊の基地などはない、新入会員もこのところ殆どなく、高齢者進んでおり、支部としては、新聞の手配りや、県会などの要請にお応えできるように努めています。なかなか思うように活動ができていないのが現状です。

佐原市は、市内を流れる小野川を中心に、かつて栄えた縁(よすが)を残す小江戸風情が漂う街で、毎年、7月には夏祭りが、10月には秋には祭りが催されます。【詳しくは、「さわらの大祭」で検索してください。】

昨年までは、コロナの影響で開催が中断されていましたが、今年には予定通り開催され、多くの観光客で賑わいました。来年も予定通り開催されると思いますので、是非ご覧いただきたいと思います。

オーバートーリズムの問題が囁かれる昨今ではありますが、こちらの方では、昔ながらのんびりと祭りの風情を堪能できます。また、食事は、うなぎのかば焼きで、というのも一考です。

香取支部長 石川芳夫



【支部紹介記事の掲載予定】

『千葉だより』の支部紹介の予定は、次の通りですので、楽しみにして、お待ち下さい。

◎3月号..  
 我孫子支部  
 緑支部